

教職センターだより

2020年7月7日 第1号
相模女子大学教職センター発行

5年目を迎えて

教職センター長 吉岡日三雄



教職センターは今年度で開設して5年目、一つの節目を迎えました。その間、教職や保育職を目指す学生への全学的な組織として各種の事業を企画し、実施してきました。

今年の2月に3年生を対象に1泊2日の合宿講座を開催しました。寝食を共にしながら今年の7月、8月の採用試験に向け、互いの意識や結束力を高め合い、次に向けて前向きな気持ちで合宿講座を終えることができました。しかしながら、その後、新型コロナウイルス対策による緊急事態宣言も出され、オンラインでの授業が始まりました。そのため学生たちは学内に入構できない状態になり、例年行ってきた採用試験対策講座は、大幅に縮小せざるを得ませんでした。関係学科の先生方の協力を得て実施している一般教養や教職教養に関する講座も開講を断念しました。また4、5月に予定していた神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市教育委員会の採用試験の学内説明会も中止せざるを得ませんでした。

そのため、センター教員・指導員を中心にこの状態の中でできる支援策としてZOOMを活用した論作文指導や、個人面接指導を実施することにしました。また、土曜日や日曜日の夕方にはZOOMミーティングを開催し、コミュニケーションをとりながら、採用試験に向けて学生たちの気持ちが持続できるようにしてきました。

緊急事態宣言が解除された後の6月8日からは、「3密」にならない対策を講じ、公立保育士や小・中・高の教員を目指す学生へ対面での個別面接を開始しました。

今年度の採用試験は、コロナウイルスの影響を受け、神奈川県教育委員会では、2次試験は論作文や模擬授業を取りやめ、面接だけになるなど大幅な試験変更が行われています。

最初は、覚えたことを話していた学生も、今では実習やボランティアでの実践経験を交えて、自分の思いや考えを語るようになり、成長した姿が見られるようになりました。

もうすぐ7月12日です。東京都や関東近県の第1次の試験日が迫ってきました。これまでの努力の成果を発揮し、次の段階へ進んでくれることを心から願っています。

今後も、先の状況が不透明な事態が続くのではないかと危惧しています。秋学期に予定している対策講座をはじめ、合格者や卒業生との交流会、宿泊を伴う講座などの事業も今までと同じやり方で実施することはおそらくできないだろうと思っています。形を変えて、どんな方法で実施することができるかを前向きに検討していきたいと思います。

同時に4年生とは、個別の指導を通してつながりがありますが、1、2、3年生とはかかわりが持てていません。教職センターそのものを知らない1年生もいると思います。このつながりをどう作り、どうセンターのことを周知していくかもこれから課題です。

今年度、教職センターには新たな兼任教員や指導員、事務職が加わりました。このような状況の中でも教職センター職員一同、新たな決意をもって全力で学生支援や指導にあたってまいります。これからも皆様の温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

センター内のレイアウト変更



お気づきの方もおられるようですが、2月の末に教職センター内の机の向きやロッカーの場所等のレイアウトを変更しました。これにより、来室者の確認や対応がしやすくなり、動線を短くして必要な物がすぐに使えるようになりました。また、会議机を横に長くつなげたこともあります。これもあって、コロナウィルスの感染防止対策の「3密」にならないような空間になっています。

さらに、入り口には、昨年度卒業した学生達からプレゼントされた「ウェルカムボード」も飾っています。気軽に寄りいただければと思います。



ZOOM面接練習

学生の入構禁止ということで、毎年5月の連休前後から始めている面接練習を実施することができなくなりました。そこで、対面に変わり代わりにZOOMを使ってのオンライン面接を行いました。5月上旬から教員採用試験を受験する学生に、校種別のZOOMミーティングを開始し、中旬からはZOOM面接練習を3週間行いました。入構禁止が解除になった6月8日（月）からは、対面式で面接練習を始めたのですが、学生に応じて併行してZOOM面接練習を行っています。実習指導室でも、ZOOMを使っています。ZOOM面接練習の良さは、1対1で行えるので中身の濃い練習ができる、録画することができ、振り返りにも役立てることができること、面接練習の時間が各自の都合に合わせて設定できることなどです。

